

# 県・横浜・川崎・相模原四県市公共施設老朽化対策検討会での検討状況

## 1. 公共施設の保有状況

		神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市
建築物	数（箇所）	2, 186	2, 552	1, 134	757
	総延床面積（千㎡）	7, 082	9, 953	3, 590	1, 653
土木インフラ	道路延長距離（km）	1, 075	7, 586	2, 465	2, 395
	橋りょう数（橋）	1, 231	1, 744	619	627
	トンネル数（箇所）	89	39	6	8
	下水道管総延長距離（km）	173	11, 769	3, 073	2, 804

## 2. これまでの主な取組状況

	神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市
建築物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県有施設長寿命化指針策定(H14)</li> <li>・県有地・県有施設の財産経営戦略策定(H22)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設長寿命化基本方針策定(H12)</li> <li>・公共施設保全・利活用基本方針策定(H20)</li> <li>・公共建築物マネジメント白書策定(H24)</li> <li>・公共建築物マネジメントの考え方策定(H26)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき資産マネジメント策定(H22)</li> <li>・かわさき資産マネジメント策定(H25)</li> <li>・学校施設長期保全計画策定(H25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設マネジメント取組方針策定(H23)</li> <li>・公共施設白書作成(H23)</li> <li>・公共施設の保全・利活用基本指針策定(H25)</li> </ul>
土木インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋りょう長寿命化修繕計画策定(H21)</li> <li>・真鶴港・大磯港維持管理計画(H20.21)</li> <li>・公園施設長寿命化計画(H21～25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全計画(長寿命化計画)(橋りょう(H24)、歩道橋(H20)、下水道施設(H24)、港湾施設(H24))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁長寿命化修繕計画策定(H22)</li> <li>・道路維持修繕計画策定(H25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋りょう長寿命化修繕計画(H23)</li> <li>・土木施設維持管理基本方針(H25)</li> <li>・下水道施設維持管理計画策定(H25)</li> </ul>

## 3. 共通課題の検討

共通課題（主なもの）	取組の方向性等
維持管理や長寿命化の計画等に基づく、計画的な修繕・改修等に係る財源の確保	計画的で効率的な修繕・改修等に加え、新しい技術などについて、情報共有を図る。
公共施設等総合管理計画の国からの策定要請に対する対応	既存計画との整合を図りながら、全公共施設等を対象にどのように策定するかなど、情報共有を図りながら取り組む。
公共施設の再編等に対する住民理解の促進	公共施設の再編等には、地域住民の理解が不可欠であり、説明会等の実施方法や対象、結果などについて、情報共有を図る。
民間のノウハウや資金を活用した公共施設の整備・維持保全	民間施設と公共施設の合築やPPP手法による整備事例などについて、情報共有を図る。

## 4. 今後の取組

既に各県市で取組が進められている公共施設の老朽化対策については、将来に渡り四県市共通の課題であり、施設の更新、統廃合など、今後、各県市が具体的な取組を進めていく必要があることから、引き続き、連携して取り組むこととした。